

自民党議員の皆様へ

## 泉房穂前明石市市長の危険思想通りにすると、 日本はアフリカのようになり、 無差別多産・無職世帯数・犯罪が増えます。

1、泉房穂氏は「人は皆、平等」という信念が強く、それ自体は素晴らしいと思う。だからといって、知的障害者の出産を認めることには猛反対です。差別ではなく『区別』が必要です。

**知的障害者に罪はないが、知的障害者を産まないように努力しないのは罪** です。

知的障害者が一人に対して数人の介護人が必要でしょう。そのための人権費の確保と障害者施設の増設に膨大な予算を要する。そうでなくても、1996年、旧優性保護法が廃止になってから、知的障害のある方でも出産できるようになり、その弊害が目立ってきて、犯罪が増え、障害者施設に入所するのはかなり厳しい倍率。すでに、街中が危険に晒されるといっても過言ではない。

介護うつ、介護殺人について、泉房穂氏はどう考えているのだろうか？！

泉房穂氏こそ障害者施設で働いて、障害者の世話をする苦勞を体感すべきだと思う。泉房穂氏は思考回路にかなりの偏りがあるようで、物ごとを一面的にしか見ることができないため、偏った人権思想によって取り返しのつかない問題を引き起こすタイプ。

2、泉房穂氏が明石市長だった頃、明石市の税収が増えたらしい。それは、子育て世代へのサービスが他の自治体よりも優れていたため、明石市へ課税世帯が引っ越したからでしょう。

今や、どこの自治体にとっても非課税世帯は重荷だが、高額納税世帯には移住して欲しいはず。

今後、チャットGPTが席卷し、貧困層（非課税世帯）が増え続けることは明らか。そんな中で、子育てサービスを充実させることで『低所得世帯の子沢山』が増えたら、近未来、街中が無職だらけとなり、犯罪が頻発する。それを防ぐには旧優性保護法を復活させて、知的障害のある方を強制避妊すべきです。知的障害者への強制避妊は世界に誇れる人道的避妊。

3、聴く耳の岸田総理へ「1996年、旧優性保護法が廃止になってから、知的障害のある方が増えていて、このままだと日本はアフリカようになってしまう！旧優性保護法の早期復活を」とFAXしたところ、岸田総理はすぐに障害者施設へ見学に行ってくださいました。岸田政権下において緊急避妊薬の販売解禁となったことも一歩前進といえる。泉房穂氏より岸田総理のほうが遙かに優秀。

岸田総理は、誰かがいずればやらなくてはいけないことを先送りにせずに行動している点が素晴らしい。なのに、支持率が下がったのは国民の質が悪すぎるから。コロナ時に、国民は「困っている人を助けるべきだ」と大合唱したんだから、増税を喜ばなくてはいけないのに喜ばないのは、優しいことを言うが優しいことをするためのお金の負担はしたくないという汚い考えだから。

汚い考えに見合った気持ち悪いオヤジ顔、昭和のおばちゃんパーマ、ヤンキー顔、前科者顔、、、キレイ言葉で着飾っても第一印象だけは騙せないのです。

福島市矢剣町11-3 星野節子  
024-563-7650

<https://ameblo.jp/animal-police>

Ameba 検索で、「動物の繁殖ほ虐待」で検索を  
繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ 産ませる人は殺す人